

JOSEI KANAGAWA

# 浄青神奈川



大本山光明寺法主宮林昭彦台下御染筆



法然上人行状絵図 卷34段5  
(讃岐への道中、遊女に念仏を説く法然上人)知恩院 蔵

- 2 平野会長挨拶
- 3 野中神奈川教区教区長挨拶  
関谷神奈川教区教化団長挨拶
- 4 平成20年度事業報告、災害救援義捐金托鉢報告
- 5 神浄青創立35周年記念講演会報告
- 6,7 各組紹介
- 8,9 他宗団見学、御忌別時念仏会報告、  
総会報告、その他行事報告
- 10 卒業、新入会員紹介
- 11 豆知識、善光寺参拜日記
- 12 平成21年度事業計画、  
神浄青第3回大別時念仏会告知

第19期テーマ

## 「原点回帰」

～自省からの出発～

第17代会長 平野 誠司

# 「原点回帰」

～自省からの出発～

第19期浄土宗神奈川教区青年会

第17代会長 **平野 誠司**



「ときどき別時の念仏を修して、心をも身をもはげまし、ととのへ、すすむべき也」

法然上人のお言葉がより身近に感じられます。「別時の念仏」。今年度の事業の最大の目玉となりますのが「神浄青大別時念仏会」であります。十二月二十八日（土）の開催に向けて、當副会長が実行委員長となり現在準備を徐々に進めております。

神浄青第十九期がスタートして二年が過ぎ、執行部一丸となつて諸事業に取り組んで参りましたが、その間、教区内諸大徳、諸先輩方、並びに会員各位には多大なご理解とご支援を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

昨年度、原点に帰るといふ思いをもつて比叡山延暦寺を参拝し、天台座主半田孝淳大僧正猊下よりご垂示を賜るといふご縁もいただき、黒谷青龍寺においては、参加者全員で夜を徹し声高らかにお念仏をお称えすることが出来ました。また、神浄青創立三十五周年を迎え、相馬副会長が中心となつて記念事業を計画し、十二月には、教区長をはじめ諸先輩方のご臨席のもと懇親会を盛大に開催致しました。その他にも港南組担当のソフトボール大会等、様々な活動を通して、仲間の大切さや人とのつながりを改めて実感した一年でした。

そこで、冒頭の「大別時念仏会」に向けて、お念仏の尊いご縁を二人でも多くの檀信徒の皆さまに結んでいただく為にはどうしたらよいか。

前回私が実行委員長をさせていただいた中で、参加者を募る際に、大勢の方を集めたいということから、各実行委員及び役員等に課せられた負担が非常に大きかつたように感じます。そこで今回はあえて目標とする人数を定めず、参加する会員が少なくとも一人以上の方をお誘いし、檀信徒とつながりを持つことを「自行」の一貫としてとらえ、「一人がひとり」を目標にしたいと思っております。会員各自坊の檀家の方々には、日頃の私たちの活動は見えません。この別時念仏会を通して、神浄青の姿をご覧いただく発表の場と考えます。この事業には、先輩方から受け継がれている浄青三信条「自行・化他・和合」がすべて網羅されているといつても過言ではありません。「自行」であることは言うまでもありませんが、僧俗一体となつてお念仏を唱え、その尊さを感じていただく

共に、私たち青年僧の如法な姿を見ていただき、参加された檀信徒の皆さまが「参加してよかった」と言つて下さつたときに、浄青として私たちに出来る「化他」の実現があると思います。そして、皆さまが阿弥陀如来・法然上人・ご先祖とのつながりを求めて集會し、更に私たち青年僧と各檀信徒との絆を深めていただくことが「和合」に他なりません。今年度の一大事業ですので、まずは一人でも多くの会員の皆さまにご参加いただき、すばらしい大別時念仏会になることを期待しております。

現在、日本の多くの既存仏教、特に浄土宗において礎を築いているのは平安時代に栄えた仏教であると言えます。それゆえに、昨年天台宗を見学したことは非常に意義がありました。そこで今回の他宗団見学は、同じく平安時代に天台宗とともに隆盛を極めた真言宗を見学参拝したいと思ひます。特に真言宗の原点である開祖弘法大師の御誕生所総本山善通寺（香川県）を参拝させていただくことを第一の目的とし、それにより真言宗の真髓に触れることが出来ると思われまふ。また、法然上人は流罪の折、善通寺に参拝し弘法大師のお徳を偲び、そこに生前自らの後世の菩提を弔う逆修供養塔を建立されました。香川県は、法然上人のご遺跡寺院が多い所でもありますので、今期のテーマにもつながる他宗団見学になると確信しています。

この一年は来期と結ぶ大切な年となります。会員の中には仕事や諸事情で浄青活動への参加が難しい方がちです。以前私自身もその一人でした。しかし、浄青に心を開けるきっかけを頂き、それを機に活動に参加して多くの大切なものを得ることが出来ました。そうした会員の方々にも是非感じていただきたい。まずは参加してみてください。神浄青の心をひとつにして宗祖八百年大遠忌をお待ちしたいと思います。「原点回帰」―自省からの出発―をテーマにした今期。残る一年も宗祖さまに喜んでいただける様な活動を展開していきたいと存じます。引き続き、教区内諸大徳・諸先輩方のご指導、そして会員各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合掌



法然上人行状繪圖 卷34段5（讃岐への道中、遊女に念仏を説く法然上人）知恩院 蔵



## 期待される青年僧とは

神奈川教区教区長 野中 省道

四月一日付けで教区長に就任しました野中省道です。青年会、いや青年僧のあり方について、述べてみたいと思います。これから教区行政に、ご協力をお願いする九関係団体（今年度より保護司会が加入）の中で重要な、かつ期待される団体だからです。特に夏期僧堂については、青年会抜きでは出来ません。今後とも宜しく願います。そしてどのような方たちで期待されるか、それは浄土宗としても在家、檀信徒から尊敬される教師になれるよう、かつ、これからの浄土宗の強勢を広めるためにも期待されています。どのような期待される教師像になるかは、自ら研鑽、研修以外なものでもないのです。期待される僧とは、どのような教師か、次にしるしてみます。

教務所には、色々な問い合わせが来ます。その中で、「よい住職さん、よいお坊さんがいたら紹介してほしい」と言われることがあります。すぐに答えに窮しました。やさしそうで、実はなかなか難しい問い合わせだからです。なぜなら、

相手が「よいお坊さん」にどんなイメージを抱いているかわからないのです。そこで一般的にどんな僧を描いているか羅列してみました。

その前提として、よい僧侶に曲がった心の持ち主はいないということです。それを前提として期待される僧本来の行に専念したタイプとして、①仏教学を奥深く究めた学僧②解りやすく法話してくれる僧③ねんごろにお勤めをしてくれる僧などがあります。

また、期待される僧として、地域の人々の心と生活を豊かにしてくれるなどのタイプとして①檀家の悩みを親身になって聞いてくれる僧（民生委員、保護司、町内会役員）②寺を開放して行事を催し人々の心を明るくしてくれる僧（幼稚保育園、PTA役員）などがあります。私はこれから期待される僧とは、本来の僧の三つあげた内の一つの条件を持ち、かつ地域の人びとの心と生活を豊かにする事のできる僧とを兼ねあわせた僧だと考えます。そのような僧になるよう期待しています。



## お念仏の活性化

神奈川教区教化団長 関谷 儀朗

浄土宗神奈川教区青年会会員の皆様はじめまして。今年度より神奈川教区教化団長の大役を、私は浅学非才であるにも関わらず、仰せ付かることになりました。私は、教区教化団の重責を成し遂げて行く為には、若い力と行動力に勝れた、浄土宗神奈川教区青年会会員の皆様の教化団への理解と協力をなくして、推進実行ができる筈がないと考えています。

この度、神奈川教区教化団は、「お念仏の活性化」を教化活動の目標と提案しました。

日常生活の中で、一声でも多くのお念仏を称えることが、元祖様のおしえであり、正しい教化と深く確信しております。そして神奈川教区寺院を通じて、檀信徒に限らず、地域社会にも広く、元祖様の教えのお念仏を伝えたいと考えています。

ならば、「お念仏の活性化」の活性化とはどのようなことなのか。一般的に辞書では次の内容で書かれています。

「活性とは、化学反応をおこしやすいなど、ある機能が特に活発になっている

状態のこと（アクティブ）化とは①ばけ、ばかす、化石、化学、羽化、変化（トランスフォーム）②かわる、進化、転化、電化 ③影響をおよぼす、化育、文化、教化 ④化学、化成、理化（チェンジ）とあります。

共和国元首が、国民に声を高く叫んでいた言葉「チェンジ」が、「国民の社会概念を変えて、国を良くしよう」は「教化」の「教え導いて善良化させること」ところでつながりがあるように思われます。不安や恐怖の中、苦しみから救われる一方法を、私は、「二尊のあはれみ」から絶対にはずれないことに注目し、「念仏の活性化」を提案した理由です。

神奈川教区寺院諸大徳のご教導を仰ぎ又、関係団体のご理解とご協力をお願いし、さらに若き活動力と実行力のある、浄土宗神奈川教区青年会会員の皆様の協力を願って推進していきたいと考えております。浄土宗神奈川教区青年会の活躍を期待いたします。

# 浄土宗神奈川教区青年会 平成20年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	4日(金)	関プロ浄青御忌詠唱大会(4名)	大本山増上寺
	5日(土)	三大本山・関プロ別時念仏会(5名)	大本山増上寺
	14日(月)	第1回理事会	大本山光明寺
	23日(水)	定期総会・神浄青入会式・卒業式(92名)	大本山光明寺
5月	26日(月)	第2回理事会・新旧役員歓送迎会(48名)	大本山光明寺・鶴ヶ岡会館
	28日(水)	中国四川省・ミャンマーサイクロン義捐金托鉢(16名)	鎌倉・高德院
6月	1日(日)	機関紙「浄青神奈川」第35号発行	浄土宗神奈川教区青年会
	24(火)～25日(水)	関プロ総会・研修会(31名)	長野・善光寺大本願 ホテル国際21
	27日(金)	岩手・宮城内陸地震義捐金托鉢(14名)	鎌倉・高德院
7月	4日(金)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕(32名)	大本山光明寺
	28日(月)～30日(水)	第61回夏期僧堂手伝い(関東地方教化センター)(30名)	大本山光明寺
8月	28日(木)	全浄第4回全国大会(13名)	青森・グランドホテル八戸
9月	16日(火)	第4回理事会	大本山光明寺
	10日(水)～11日(木)	他宗団見学(22名)	比叡山・黒谷青龍寺
10月	9日(木)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕(36名)	大本山光明寺
	14日(火)	十夜法要日中法要参列(10名)	大本山光明寺
	28日(火)	関プロ浄青スポーツ交流大会(24名)	山梨・石和
11月	17日(月)	全日仏青 奈良千僧法要(9名)	奈良・東大寺
	20日(木)	神奈川教区長杯ソフトボール大会(82名)	担当 港南組
	28日(金)	三大本山・関プロ浄青別時念仏会(49名)	大本山光明寺
12月	1日(月)	対内紙「NICE BOSE通信」第13号発行	浄土宗神奈川教区青年会
	2日(火)	第6回理事会	大本山光明寺
	18日(木)	神浄青35周年記念講演・忘年会(61名)、会員手帳発行	横浜・キャメロットジャパン
1月	23日(金)	第7回理事会・御忌別時念仏会(45名)	大本山光明寺
	28(水)～29日(木)	全浄総合研修会(7名)	熊本・熊本県民交流館
2月	24日(火)	全浄大別時念仏会(4名)	北海道・札幌 新善光寺
3月	11日(水)	第8回理事会	大本山光明寺



平成二十年五月二十八日にミャンマーサイクロン・中国四川大地震被災者救済のため(参加者十六名)、六月二十七日には岩手宮城内陸地震救済のため(参加者十四名)、いずれも鎌倉大仏高德院様の境内にて、義捐金托鉢を行わせていただきました。修学旅行の生徒や外国人を含む観光客など大勢の皆さんが募金に応じてくださり、五月二十八日は十六万三千二百円、六月二十七日は十二万七千四百四十五円の浄財が集まり、全浄青や神奈川新聞を通じ、被災地へ送らせていただきました。これほど大勢の方が募金に応じ、浄財をお寄せくださったのは、我々宗教者が信頼されていればこそだと思います。この信頼に感謝し、裏切らないよう、日々精進につとめなければならぬと思います。

浄財をお寄せくださった皆様、会場をご提供くださり、大変お世話になりました高德院様、急な呼びかけにもかかわらずご参加くださいました会員の皆さんに、心から感謝申し上げます。

## 災害救援義捐金托鉢報告

鎌倉組 當間 伸行

# 神浄青創立35周年記念講演会・懇親会 開催報告

中郡組 相馬 正覚

去る平成二十年十二月十八日、横浜駅西口「ホテルキャメロットジャパン」におきまして《神浄青創立35周年記念講演会・懇親会》が開催されました。

五年に一度行われる大きな事業である周年事業。今回は忘年会との併修という形で、講演会・懇親会の二部構成とさせて頂きました。

午後五時からの講演会では、われわれ浄青会員が個々の寺院において様々な目標を達成してゆくうえでフィードバックできれば・・・との執行部の想いから、かつてのプロ野球選手であり、あのイチロー選手の打撃投手を務めた奥村幸治氏を講師に招き、「目標達成のセルフマネジメント」～イチローの原点を知る男～と題して講演を頂きました。

オリックス時代に係わった現マリナーズのイチロー選手の話や、奥村氏の主宰する少年野球チームに所属していた楽天の田中将大選手の話、西武ライオンズの強さの秘訣、メジャーリーグ球団のキャンプを見学したときの話等々リアルな体験にもとづく興味深い話の数々に、拝聴

したOB、現役会員一同引き込まれ、瞬く間に講演時間が過ぎ去りました。

懇親会では冒頭に先亡会員、関係者の回向をさせて頂いてからの、教区長、教化団長をはじめ多数の歴代会長、OBの諸先輩よりたくさんのお祝いと激励のこトばを賜り、改めて身の引き締まる思いが致しました。また余興でお願いした「風船太郎」さんもとて盛り上がり、大きな華を添えてくれました。

執行部一同一丸となり盛会裏に開催することができたと胸をなで下ろし、大変有難く思っております。

末尾ではございますがOB、現役会員全ての皆様、年末ご繁忙のなかご参加いただきましたまして本当に有難うございました。来たる40周年へ向けて、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



講師 奥村幸治氏





## 港南組

丸地 裕信

平成二十一年度も引き続き港南組青年会の会長を務めさせて頂きます。今年度も港南浄青一丸となりまして浄青活動を盛り上げて参りたいと思っております。

昨年度の港南浄青の活動は、毎月一回、柴田哲彦先生による鎌倉組青年会と合同の布教研修会「勅修御伝」輪読会を中心と致しまして、年四回、塩澤智彦先生による法式研修会、また、親睦事業と致しまして港北組青年会と合同の家族親睦会、年三回の港南組婦人会を展開して参りました。

また、昨年度は神奈川教区長杯争奪神浄青ソフトボール大会担当組と致しまして、秋晴れの中、参加者九十余名の

盛会をもちまして開催する事が出来ましたが、偏に会員皆様のご厚情の賜と厚く御礼申し上げます。

今年度の港南浄青は新たに一名の新入会員を迎え、総勢十四名の会員と共にスタート致しました。昨年度に引き続き、鎌倉組青年会と合同の布教研修会を中心と致しまして、法式研修会、港北組青年会合同家族親睦会、婦人会等、自合・化他・和合の精神に基づき心を一つにし、精進して参りたいと思っております。

最後となりますが、教区青年会事業にも積極的に参加していく所存でありますので、何卒ご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。



## 京浜組

加藤 光成

みなさんこんにちは。京浜組青年会会長の加藤光成です。今期は慶岸寺林田康順上人が浄青会員を御卒業され、京浜組正会員が七人という心細い状況になり、浄青活動の運営が厳しくなります。

ですが、少数ながらも各個人のスキルアップを図り、今居るメンバー皆で法式検定に合格する事を、今期の京浜組青年会事業の集大成としたいと考えております。来年の二月実施される法式検定に全員合格という目標を確実にするため、七・八月の繁忙期を除いた月一回ペース計四・五回で研修を重ねてまいります。

この研修の講師には、組青年会の先輩、専念寺佐々木敬易上人をお迎え致します。

法式検定の級獲得という目標を浄青メンバーの努力はもとより、諸先輩方のご協力を頂戴し、確実に達成できるような研鑽を積む。これが今期の京浜組の最重要課題と考えております。そして、これから先輩後輩の垣根を越え、協力し合える信頼関係を組内に構築し、我々浄青メンバーは少人数での組事業遂行という厳しい局面を打開したいと考えております。

## 神浄青各組紹介



## 高座組

村瀬 良喜

高座組青年会の村瀬良喜です。一年間会長として努めて参りましたが、志半ばで実現しなかった事業などもあり、改めて自分の非力さを痛感した一年でございました。その上、長年高座浄青を支え続けて下さいました曾我高順上人がご卒業され、その影響は計り知れないものがございますが、これまでの功績に敬意を表し、その実績に負けない浄青活動を展開して参りたいと思っております。

本年度の事業につきましては、「自行」として昨年度から引き続き斎藤良典上人を講師にお迎えし詠唱研修会、塩澤智彦上人を講師にお迎えし法式研修会をそれぞれ実施いたします。「化他」として広報誌の作成、「和合」として家族親睦会を開催する予定です。

そして、本年度の一大イベントといたしましては、神浄青ソフトボール大会の担当を務めさせて頂きたく思います。手前味噌で恐縮ですが昨年の大会で二連覇を達成し、今だ興奮冷めやらぬ状態でございますが、さすがに今回は裏方に徹する覚悟でございます。ちょっと残念な気もしますが、何分不慣れな役員体制でございますので、十分な大会の準備、運営が調うかどうか心配ではございますが、高座浄青会員一同、総勢十九名が一丸となつて大会を成功裏に収めるべく努力いたしますと存じます。

残り一年の任期となりますが、神浄青の諸事業につきましても、我が高座浄青の仲間でもありますが、平野誠司会長を微力ながらお支えする所存でございます。ですので宜しくお願いいたします。



## 港北組

森 泰道

いつもお世話になっております港北浄青会長の森泰道です。この三月をもって大蓮寺、大橋定敏上人が卒業されました。大橋上人におかれましては、組や県浄青はもちろんです、全国浄青にまで幅広く活躍されました。本当にお疲れ様でした。今後私たちが後輩にご指導をいただけますようお願い申し上げます。

そして新たに一名、宗泉寺横井隆昌君が入会されました。まだ学生なので即戦力という訳ではありませんが、今後の活躍に期待しております。

さて今期事業については、前期に引き続き講師に塩澤智彦

上人を迎え計四回の法式研修会を行います。熱心なご指導の下、各会員のレベルアップに繋がっております。

また、恒例となっております港南、港北家族親睦会は会員家族相互の理解、交流を深めるべく六月中旬に事業を予定しております。

今期、港北浄青は十三名の会員で活動して行く訳ですが、若い会員の方々が、組や神浄青事業へ積極的に参加できるような環境作りに取り組みを存じますので今期も引き続き港北浄青を宜しく願います。



# 中郡組

吉田 健一

昨年度の中郡組浄青は、「グリーフケア」を取り上げ、悲嘆の中にある方とどのように向き合えばよいのか勉強してまいりました。

かつての葬送儀礼の中には、その宗教性のみならず、人々が経験から積み上げた「死に対する処し方」を風習として取り入れ地域社会で共有してきました。この世では誰も経験したことのない「死に方」を皆と同じように凡庸に迎えることは、ある種の安心感であり、悲嘆のリスクを軽減する機能を果たしていたのかもしれない。

昨今の都市部では、「自分らしい葬儀」という言葉とともに消費者視点で自由な形態の葬儀が主流となりつつあります。しかし、残された者の視点や、時間的にも空間的にも大いなる繋がりの中で生きていく人

間の宗教性、社会性というものを欠いた「自分らしい葬儀」は、遺族にとっては必ずしも「良い葬儀」であるとは言えません。葬送儀礼の本質が見失われつつある現代においてこそ、今一度僧侶が葬儀のもつ宗教的、社会的意味を見つめ直し、地域社会の中で死やその周辺に関わる人々の不安や悩みに対して主体的に関わって行く必要があると考えます。

本年の中郡組浄青では、「グリーフケア」の一環として、遺族との手紙の往復書簡のワークショップを通じて悲嘆者との寄り添い方を考え、さらに誰もが経験しなくてはならない悲嘆を軽減させる為に「今できること」として、「家族と共に考える」エンディングノートに勉強もして行きたいと思っております。



# 鎌倉組

成実 洋史

鎌倉組青年会会長、成実洋史です。

今年度は長善寺、野中和道上人・千光寺、小野正彦上人・了正寺、土橋妙宏尼の三名が卒業となり、会員総数は二十三名と成りました。

平成二十一年度の事業は、港南組様と合同で經典講読研究會(勅修御伝)と合同法式講習會。組としては法式講習會二回・歳末助け合い托鉢・忘年会を行う予定です。

また昨年度事業の普通救命講習に於いては二十名もの大人数のご参加を頂きました。その内の五名は高座組様からのご参加を頂き、この場を借りて御礼申し上げます。講習自体も、皆がAEDを人形相手に実際に使用すると言う実

践的なもので、有意義な講習になったと思考致しております。

今年度は引き続き、上級救命講習を行う予定です。上級救命は乳幼児から低学年辺りまでのお子様に行う場合を想定しての講習となります。浄青会員と言う事もあり、お子さんのいるご家庭や、これからご家庭を持つ方が多いかと存じ、緊急時の対応を知っておく事も必要と考え、人工呼吸法・AED(体外式自動除細動機)の取扱い方を中心に勉強させて頂く予定です。

会長を務めて半期が無事経過しました。諸先輩・会員諸師のご指導・ご協力の下に、後残り一年滞りなく務めたいと頑張つていく所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

## 神浄青各組紹介



# 小田原組

岩崎 正伸

今期、小田原組では新入会員に大蓮寺 戸松良明君を迎え総勢十七名にて活動をして参ります。主となる行事は「五重相伝会」です。会処寺院を本誓寺様とし、勸誡師を東京正受院ご住職(増上寺布教師会会長) 正村英明上人、教授師を無量寺ご住職(法式一級教師) 小島伸方上人をお迎えして、来る十月二十五日(二十九日)の五日間にて開催する予定です。それに伴いまして、月に一度小島上人による五重勉強会を会員共に知識を深める目的にて行っております。

この「五重相伝会」を開催することにより、僧俗一体となり今一度知識を深め、また正しい信仰の形を整えていきたいと考えております。また、例年通り歳末助け合い協同募金(托鉢)を小田原駅内にて行う予定です。そして、青年会の家族とも親睦を深める目的で来年三月下旬にて家族親睦会も行う予定です。若い力を十二分に発揮できるように一層の団結力を持つて今期も活動をしていきたく思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



# 三浦組

菊地 邦彦

こんにちには、三浦組正行院の菊地邦彦です。昨年度は各組の皆様、先輩上人の方々に大変お世話になりました。誠に有難う御座りました。平成二十年度三浦組浄青会の第一回研修會は不断寺、杉浦定徳上人を講師としてお招きし法式研修會を実施しました。お十夜で勉強させる引声法要を実践し勉強させて頂きましたが、大変奥が深く、二回の研修では到底習得出来ませんので継続的に研修會を開催する予定です。昨年七月には三浦市三戸浜海岸に隣接するリゾートホテル、ビーチバムにて恒例の家族親睦バーベキュー大会を行いました。家族の親睦、交流を深めました。

今年度の活動計画は五月に天養院 吉水祥史上人を講師としてお招きし法式研修會を開催する予定です。十二月は忘年会、鎌倉組さんとの合同托鉢、翌年一月には光雲寺、慶野匡文上人を講師としてお招きし布教研修會をお願いする予定です。そして今期最後の活動として、来年二月頃に海外研修會を予定しています。各組の皆様との親睦を深め、楽しい研修にしたいと思っております。ご都合が宜しい方は是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

また今年十一月の神浄青活動、第三回大別時念仏会の実行委員に三浦浄青会代表として福本寺、山本宗純上人が選出されました。浄青会で学び、経験した事が今後とも活かされるよう会員一同、力を合わせ活動していきますので、Z、Vイクセン、コミュニティー、ミウラ(三浦組浄青会)を宜しくお願い致します。

# 他宗団見学

## 「比叡山・黒谷青龍寺参拝」

高座組 戸田 順教

平成二十年九月十日、十一日、他宗団見学「比叡山・黒谷青龍寺参拝」に二十二名が参加した。京都駅に集合し、一路バスで滋賀県坂本を目指した。滋賀院門跡で、半田孝淳天台座主大僧正猊下より緊張の中ご垂示を賜った後青龍寺に向かった。車の入れない山道を下った奥深い谷に青龍寺はあった。法然上人が十八歳の時に叡空の門下に入り、四十三歳で浄土宗開宗に至るまで過ごした場所である。山門をくぐると右手に一切経を収めた報恩蔵があり、ここにこもられて念仏往生の教えを見出されたのかと思うと感慨深い。本堂に於いてお勤めすると、数百年前に、ここに法然上人がいらつしやつたという事が感じられた。別時念仏会では、予定時間を大幅に越え深夜までお念仏の声が堂内に響き渡った。夜には動物の鳴き声だけが聞こえ、それ以外は静寂と真つ暗闇であった。翌朝は、法然上人も歩かれただろう山道を大原に下った。そして、大原にある松林院を訪ねた。一一八六年の秋、大原問答が開かれた場所である。法然上人五十四歳。主催者は大原に住む天台宗の学僧顕真であった。この討論に関心のある人が多く三百余名が参集したといわれる。内容は「法然上人の念仏の教えは正しい仏教であるか」についてだった。議論の末、顕真も法然上人の浄土教に深く帰依したと伝えられている。本堂には、問答の時に使われた問答台がその時のまま置かれていてその時代の法然上人に思いを馳せた。



# 御忌別時念仏会報告

京浜組 古屋 道正

平成二十二年一月二十三日(金)、大本山光明寺において、御忌別時念仏会が行われました。神浄青会員参加者四十五名で、法然上人のご遺徳を讃えんと共に、自身の修養を図ることができました。

暗中の灯明の光は、私たちの濁世(じよくせ)を阿弥陀様の慈悲の光明で照らして下さっているかのようで、とても幻想的でした。

阿弥陀様のお顔を見つめ、一心不乱にお念仏を称え、礼拝をしておりますと、自然と心が鎮まってくる感覚を覚えました。そして、同行と共に称えるお念仏は、道心を一層奮い起こしてくれるものになりました。



# 関ブロ浄青詠唱奉納大会報告

高座組 香川 陽祐

去る平成二十一年四月四日、大本山増上寺に於いて詠唱奉納大会がおこなわれました。神浄青からは五名、関ブロ浄青全体では五十名以上の参加でありました。

多くの檀信徒の皆様が日ごろの成果を奉納するなか、関ブロ浄青は例年通り『月影の御詠歌』を青年僧侶らしく、増上寺大殿の隅々まで響き渡るほどの大きな声で堂々と奉納をいたしました。

# 三大本山・関ブロ浄青別時念仏会

高座組 香川 陽祐

去る平成二十一年四月五日、大本山増上寺に於いて三大本山・関ブロ浄青別時念仏会がおこなわれました。神浄青からは四名、関ブロ浄青・檀信徒の皆様では総勢百名以上の参加となりました。

増上寺様の御忌のさなかであり、わずかな時間での御念仏ではありましたが、檀信徒の皆様・浄青の仲間と共に御念仏をお称えすることができたことは、大変貴重な時間でありました。

# 平成二十一年度総会報告

高座組 藤本 剛史

平成二十一年四月二十四日、大本山光明寺にて「平成二十一年度浄土宗神奈川教区青年会定期総会」が行われました。

大殿回廊の後、書院にて當間副会長の開会宣言にて午後一時三十分より開催されました。総会出席者は四十九名、委任状が五十一名、計百名で現在の会員数百十九名の過半数を得て成立致しました。

平野会長、三荒相談役の挨拶の後、今年度、神奈川教区教区長にご就任された 野中省道上人よりご祝辞を賜りました。また教化団長の関谷儀朗上人からもお言葉を賜りました。続いて大本山光明寺 阿川執事より御挨拶を頂きました。

議長につきましては立候補者がなく、会長が議長に推薦され一同拍手の中、承認されました。

議案審議につきましては平成二十一年度事業報告・同会計報告に続き、平成二十一年度事業計画案・同予算案と審議され共に一同拍手にて承認されました。

議長降任後の報告依頼事項では森本編集委員長より浄青松神奈川第三十六号の執筆依頼、當間副会長より、自身が実行委員長を務める神浄青第三回大別時念仏会の参加、協力の依頼、藤本事務局長より関プロ総会・研修会と全日仏千僧法要の参加依頼と今年度会員の中で結婚式、晋山式を迎えられる方の報告依頼がありました。

次に各組の常任理事による事業紹介の後、卒業会員、新入会員への記念品贈呈がありました。

平成二十一年度をもって卒業された会員は、現相談役の三荒上人を含め八名おられ、内四名のご出席を頂きました。皆様より心のこもった感動的な御挨拶を頂き、会場の涙を誘いました。またご欠席された方からのコメントも司会より発表されました。

平成二十一年度の新入会員は三名で内一名が出席し、新入会の挨拶を致しました。その後、石川監事より総括があり最後に相馬副会長の閉会宣言によって本総会は無事閉会致しました。



## 全浄第五回大別時念仏会

高座組 藤本 剛史

平成二十一年二月二十四日(火)北海道札幌市新善光寺に於いて「全浄第五回大別時念仏会」が開催されました。

平成十七年より毎年行われているこの大別時念仏会に、全国より多くの会員・檀信徒が集いました。

「平成二十三年宗祖法然上人八百周年大遠忌」に向けて一段と全国の浄青会員の結束が固まったような気がします。

当教区からは四十歳代が四名という形で参加でしたが、しっかりとお念仏を唱え、またお札のご回向もして参りました。

遠方の上、寒い所へ卒業間際にご参加されたOB会員の大橋定敏上人と斎藤匡念上人のお二人方には大変お世話になりました、感謝申し上げます。

次回は平成二十二年三月に宮城県・定義如来 西方寺での開催の予定です。今度は多くの会員の皆様と共に参りたいと思っております。

最後に、開催にあたり全国浄土宗青年会及び北海道ブロック浄土宗青年会、そして会所を提供頂きました札幌・新善光寺様の皆様方に厚く御礼申し上げます。



## 第三十四回全国総合研修会

京浜組 森本 有史

思えば遠くに来たものだ。羽田を発ち、降りたのは、火の国熊本。

時は平成二十一年一月二十八日、二十九日。熊本県民交流館にて第三十四回全国総合研修会が開かれました。神奈川からは七名が参加し、全国からは二百名近くの参加者がありました。

研修内容は多岐に渡り、その一つ一つに心動かされ、自分自身を省みる良い機会となりました。余談ですが、さすが熊本、地元特産品の味は素晴らしく、雨中の熊本城もまた雄大でした。

## 三大本山・関プロ別時念仏会

京浜組 森本 有史

好天に恵まれた昨年の十一月二十八日、大本山光明寺を会場に、「三大本山・関プロ別時念仏会」が行われました。神奈川からは四十九名。その他関東各地より総勢百十三名が参加されました。

本堂への行道から、参加者の顔つきはこれからお称えするお念仏への深い思いに満ちた神妙なものとなっておりました。本堂では参加者全員心が一つになった、まさに心からの南無阿弥陀仏をお唱えさせて頂きました。



# 卒業会員紹介

## お疲れ様でした



中郡組 宗源寺  
三荒 弘道

神浄青に所属して20年以上の月日が経ちました。つくづく時の経つ早さに驚かされるばかりです。神浄青での様々な活動を通して、時には本気で喧嘩をしたり、時には明け方まで語りあったり、共に喜び、汗をかき、涙し過ごした時間は私にとってかけがえのない貴重な宝であります。卒業にあたり、お世話になりました全ての方々に感謝申し上げ、挨拶と致します。有難うございました。



中郡組 阿弥陀寺  
斎藤 匡念

あつという間の20年、良い思い出しか浮かびません。向かう処はただ一つ、同心の仲間と話し合い、共に苦しみ、楽しめる青年組織は浄青会だけだと思います。浄青活動に参加し、浄土宗僧侶としてすべきことを実践し、行動を起こせる人を目指そう！  
有難うございました。



高座組 鶴林寺  
曾我 高順

浄青とは、参加することに意義がある！！参加することによって多くの同じ志を持った仲間と出会い、共に笑い、泣き、悩んだりする中で、多くのことを経験し、学び成長できるのです！

私も浄青活動で経験し学んだことや、ここで出会った仲間を宝として、精進してまいりたいと思います。

今までお世話になった事に御礼申し上げ、神浄青の益々のご発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。



お疲れ様でした

第19期マスコットキャラクター  
座間のセイちゃん



京浜組 慶岸寺  
林田 康順

「第10回花祭り愛のプレゼント記念特集・金沢母子寮訪問記」。これが私の本紙(S62・NO14)への初寄稿でした。帰敬式・夏期僧堂・ホスピス訪問…、そして法然塾、どれも神浄青の貴重な体験であり、素敵な思い出です。みなさんどうもありがとう！



港北組 大蓮寺  
大橋 定敏

卒業するにあたり今まで過ごした25年間の振り返ると、浄青の活動を通して本当に様々な経験をさせて頂いたことに心より感謝いたします。自行・化他・和合と硬軟おろりませ、様々な事業に挑戦する神浄青の伝統を踏まえ、より良い活動を継承していただければと思います。本当にお世話になり、ありがとうございました。



鎌倉組 了正寺  
土橋 妙宏

あまり活動に参加できなかったのが無念です。選択集の勉強会に飛び込み、素人の私がほんのわずかばかり浄土宗を知ることができ、ありがたかったです。これからは賛助としてお役に立つようにしていきたいと思ひます。



鎌倉組 長善寺  
野中 和道

卒業にあたり、月日の経つ速さに驚いております。佛大卒業後、社会福祉に従事しており、浄青活動への参加は夏見会長期からでした。「食育」をテーマに子供達を集め「食物を育て食べる、食べ物の有り難みを知り、生きる喜びを実感する」この事業に参加出来た事、子供達の生き生きとした姿に感動した事が、今も良き思い出です。

## 新入会員紹介

宜しくお願ひします



港北組 宗泉寺  
横井 隆昌(りゅうしょう)  
①昭和63年4月9日  
②未成満  
③カレー、ねるねるねーるね(駄菓子)  
④インテリア、読書、  
⑤デビュー当時のリアディソン  
⑥横井クン



港南組 法安寺  
戸谷 義丈(ぎじょう)  
①昭和50年4月15日  
②加行成満 平成15年12月  
③うまい飯  
④おふる  
⑤特になし  
⑥鵜飼くん



小田原組 大蓮寺  
戸松 良明(りょうめい)  
①昭和61年4月24日  
②未成満  
③餃子、つけ麺  
④散歩、ドライブ、買い物、  
⑤宮崎あおい、中川翔子、麻生久美子  
⑥特になし

- ①生年月日
- ②加行成満
- ③好きな食べ物
- ④趣味
- ⑤好きな芸能人
- ⑥ニックネーム

## 英語でお寺の説明できますか

今号の豆知識のコーナーは、もしも外国の方がお寺に来られ、話す機会があったら。そんな日常に起こりうる状況を想定し、中郡組 正安寺酒井仁成上人にご協力を頂き、どんな事に気をつけて話せばよいか？会話のポイント等についてアドバイスを頂きました。

酒井上人曰く、「当たり前かもしれませんが、目を見て笑顔で話すことが大事です。そして自分の名前を言って挨拶します。」

Hi, my name is ○○. I am the main priest of ○○寺. Nice to meet you.

(私は○○です。○○寺の住職です。初めまして。)

「私は貴方を心から迎え入れます。という気持ちをまず伝えてください。仮に私たちが異国の教会等に行ったとき、どんな接し方をされたら嬉しいか想像してみるのも良いと思います。」

「初めから寺院や仏教に関する質問をされる場合もありますが、例えばその外国の方がどちらから来られたのか、日本は初めてかどうか等、雰囲気によってこちらから会話を進める時もあると思います。また英語での境内の案内など前もって少しイメージしておけば、スムーズに対応できるでしょう。」

次に抑揚の付け方や、強調する箇所等を教えて頂きました。

はい・いいえの答えを求める質問は語尾を上げます。

Are you traveling alone?

そうではなく、例えば出身地を聞いたりする場合などは、語尾を上げません。

Where are you from? What is your name?

会話に役立つと思われる幾つかの例文を作ってみました。

- 1・このお寺は○○年前に建てられました。  
This temple was founded ○○ years ago.
- 2・私たちのお宗旨は浄土宗です。  
I (We) belong to Jodo denomination of the Pure Land Buddhism.
- 3・宗祖は法然上人です。  
Jodo denomination was founded by Master Honen.
- 4・本山は知恩院です。  
The headquarters of Jodo denomination is Chion-In Temple in Kyoto.
- 5・興味があったら日曜日の法要に来てみませんか？  
If you like, you are more than welcome to join us for our Sunday service.

是非、お役立て頂きたいと思います。  
酒井仁成上人、ご協力ありがとうございました。



善光寺参詣当日の朝、北向き観音にお参りし、その足で善光寺へと車を走らせました。さすが、七年に一度の盛儀。平日にも関わらず、善光寺周辺の人は出は凄まじいものがありました。山門を抜け、目指すは本堂内の前立本尊様と意気込んだのもつかの間、そこには五百から六百人ほどの長蛇の列。前立本尊様と金糸で結ばれた大回向柱に触れ、本尊様との結縁を頂くのに一時間程を費やしました。漸く入ることのできた本堂にて直接見る事のできた前立本尊様のお姿に感動もひとしおでした。

次回の御開帳時には更に研鑽を積み、より一層の信仰心を持っていただくと考えさせられる、とても有意義な旅でした。

最初は単なる思い付きの旅行が、この様に素晴らしい参拝旅行になったのも、ご賛同頂いた、石川・柴田両上人のお陰と、感謝申し上げます。

本年は七年に一度の御開帳の年。早くに思い立ったが吉日、五月の末に信州善光寺へお参りして来ました。旅の始まりは、私、編集委員長の急な思いつき。ご賛同頂いたのは、港北組大善寺石川上人と蓮勝寺柴田上人。

善光寺参詣を翌日に控え、三人は別所温泉に集合。何故、別所温泉なのか。それは、別所温泉に在る北向き観音へお参りをさせて頂く為でありました。

北向き観音の名は、信州善光寺の南向きと向き合うように建てられているところから名付けられたと言われています。善光寺と北向き観音のご利益は一体のもので、南向きの善光寺に参詣し、「来世往生」を、北向き観音に参詣し「現世利益」を祈願しなければ、「片詣り」になるとされています。

### 善光寺参拝日記

遠くとも 一度は詣れ善光寺  
救い給うは 弥陀の誓願

# 平成21年度 浄土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	内 容	場 所
4月	4日(土)	関プロ浄青御忌詠唱大会	大本山増上寺
	5日(日)	三大本山・関プロ別時念仏会	大本山増上寺
	13日(月)	<b>第1回理事会</b>	大本山光明寺
5月	24日(金)	<b>定期総会・神浄青入会式・卒業式</b>	大本山光明寺
	14日(木)	<b>第2回理事会</b>	大本山光明寺
6月	1日(月)	<b>機関紙「浄青神奈川」第36号発行</b>	
	25日(木)～26日(金)	関プロ総会・研修会	群馬・伊香保 ホテル木暮
7月	2日(木)	<b>第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕</b>	大本山光明寺
	28日(火)～30日(木)	第62回夏期僧堂手伝い(関東地方教化センター)	大本山光明寺
8月	21日(金)	<b>家族親睦会</b>	座間 宗仲寺
	26日(水)	全浄第5回全国大会 伊勢教区	
9月	17日(木)	<b>第4回理事会</b>	大本山光明寺
10月	1日(木)	関プロ浄青スポーツ交流大会	栃木・宇都宮
	7日(水)	<b>第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕</b>	大本山光明寺
	14日(水)	<b>十夜法要日中法要参列</b>	大本山光明寺
	29日(木)	三大本山・関プロ別時念仏会	群馬・館林 善導寺
11月	16日(月)	<b>神奈川教区长杯ソフトボール大会</b>	担当 高座組
	28日(土)	<b>神浄青第3回大別時念仏会</b>	大本山光明寺
12月	1日(火)	<b>対内紙「NICE BOSE通信」第14号発行</b>	
	8日(火)	<b>第6回理事会・臨時総会・忘年会</b>	未定
1月	22日(金)	<b>第7回理事会・御忌別時念仏会</b>	大本山光明寺
	下旬～2月上旬	<b>他宗団見学</b>	四国
2月	19日(金)～20日(土)	全浄総合研修会・全浄40周年記念大会	総本山知恩院
3月	下旬	全浄大別時念仏会	宮城・定義如来 西方寺
	下旬	<b>第8回理事会</b>	大本山光明寺

神浄青ホームページ: [www.jodo-kks.com](http://www.jodo-kks.com)

## 編集後記

当編集委員会として最後の年を迎え、二紙目の「浄青神奈川」を発行する事が出来ました。ご寄稿頂きました諸上人の皆様、この場をお借りして、御礼申し上げます。誠に有難うございました。

一年に一紙発行する「浄青神奈川」もこの号で36号目。この数字を見るだけでも神奈川教区青年会・編集委員会の長い歴史と伝統を感じます。この長い歴史の中、編集委員会に携わって来られた先輩方に恥じめ「浄青神奈川」を発行させて頂けたと自負しております。

一期二年、最後の年を迎えた今期、各編集委員の仕事ぶりも目を見張る程に上達し、来期に向け何一つ心配のない組織になった事を誇りに思います。

編集委員長 森本有史

## 神浄青第3回大別時念仏会

原点回帰

～自省からの出発～



日時 **11月28日(土)**

会場 **大本山光明寺**

お檀家と  
手をたずさえて  
南無阿弥陀仏